

令和4年10月
第435号



釜戸小の草取りボランティアお疲れさまでした。



お
お



9/19

公民館講座 『石に絵を描こう』

好きな石を選び、思い思いの楽しい
絵が描けました。

おもな内容

- ・大杉保存活用プロジェクト …p1~2
- ・公民館講座『石に絵を描こう』 …p3~4
- ・喜べるか『老人力』 …p5~6
- ・私たちのコミュニティスクール …p7
- ・敬老会 …p8
- ・丸森だより …p9

倒木した大杉の復興・復旧プロジェクトをグッドデザイン賞に応募しました。

大湫町コミュニティ推進協議会の協力の元、造家工房・ナノ・ランドスキップ共同企業体は、2021グッドデザイン賞へ「樹齢670年巨樹の保存活用プロジェクト」を応募しました。

グッドデザイン賞とは。

グッドデザイン賞は、製品、建築、ソフトウェア、システム、サービスなど、私たちを取りまくさまざまなものごとに贈られます。かたちのある無しにかかわらず、人が何らかの理想や目的を果たすために築いたものごとをデザインととらえ、その質を評価・顕彰しています。



GOOD
DESIGN

グッドデザインマークは
様々なところで、目にし
親しまれています。



グッドデザイン賞の対象は文房具から建築物、公園まで多岐に渡る。金鳥の蚊取り線香やおーいお茶などよく目にするものが、過去にグッドデザイン賞を受賞していることもたくさんあります。



これらも昔、グッドデザイン賞を
もらっています。

グッドデザイン賞2022の応募件数は5000件以上。会場の国際展示場の中には、所狭しとそれぞれ魅力的なプロダクトが並んでいました。工夫をこらされたデザインの数々は、モノ・コトを通して社会をより良くしていくデザインの本質が感じられ興味深いものばかりでした。樹齢670年巨樹の保存活用プロジェクトはその中でも温かみのある大湫町らしいプロジェクトとして、周囲とはまた違った魅力を放っていました。それらは大湫町の方に見て頂きたい誇らしいものでした。

●グッドデザイン賞を大湫町の方々へ。

グッドデザイン賞にはたくさんのカテゴリーがあります。今回私たちがエントリーしたのは地域の取り組み、活動というカテゴリーです。共同企業体の性質として、建築物でのエントリーも考えられましたが、私たちの行った復旧工事はことが起こってから試行錯誤して奔走してきた大湫町の思いを一部代弁した形でプロジェクトを行ったにすぎません。

町の宝であった大杉が倒れた直後から、多くの方が思いを寄せ、汗水流し枝葉や土を片付け、喧々譁々と議論を重ねて来たはずです。倒れてしまったものは元には戻らないが、なんとか次の世代に大杉への思いを引き継ごうと様々な取り組みが行われてきました。その一つがプロポーザルを通した復旧工事でそこに我々が関わらせて頂きました。

共同企業体に我々は大湫町民ではありませんが、復旧工事完了後の完成式典で披露された言葉や太鼓、そして大しめ縄をかけた瞬間は何か込み上げるものがありました。出来上がった物は形としてそこに残ります。しかし、大切なのはものではなくこれらを成し遂げようとした大湫の方々の思いだと感じました。この大湫町民の思いと取り組みが、多くの方に届くように、グッドデザイン賞の地域の取り組み・活動で応募を決めました。

大杉に対する思いや活動は、自慢げに周囲に話すことではないかもしれませんが、それでも第三者の私たちからすると誇るべき大湫町の姿として目に映っています。

●立派な展示会場と審査

8月1日から5日に愛知県国際展示場で二次審査が行われました。展示場での審査には、ソラクリエイションさんのドキュメンタリー映像や模型、クラウドファンディングの返礼品や広報大湫等を展示しました。

展示審査以外にも面接審査やプレゼンテーションがありましたが、対象物の迫力のためか穏やかな審査となったような気がします。基本的には審査の段階でもすごいことやっているね。とご好評頂きました。

グッドデザイン賞が受賞できたら、多くの方に見てもらい、大湫の魅力をさらに発信できるようになると思います。認知度が高いマークなので上手に活用したいですね。



国際展示場での大杉プロジェクトのブースの様子

大湫町の皆様、ご協力ありがとうございました。

『石に絵を描こう』

石に絵を描こうに参加して

小栗 康彦

この度、『石に絵を描こう』に姉と妹と自分の子供達で参加させて頂きました。ちょうど台風の時期でしたが、無事に開催されると分かり、子供たちも喜んでいました。石に絵を描くのは、先生の須山さんがオオクテツクルテでやっていたのに参加した時が初めてで当時小さかった長女は、上手くできず自分がほとんど描いてしまいました。今回は自分で石を選び、絵もちゃんと描けていて、成長したんだと少し嬉しくなりました。

石に絵を描くと言っても、石ごとにいろんな色や、模様、質感があり、最初は難しいと感じていました。ただ、



のもあり、とても興味深いものでした。どんな石でも作品になると気づかされたのと、なにより子供達が、とても楽しそうでしたので、自分達でもやって見ようと思います。参加させて頂いてありがとうございます。



その石をじっと見てみると、その色や模様が、不思議と動物に見えたり、植物に見えたり、中にはジヨツキに入ったビールに見えたりするもの

石の作品

A・T

この間、私は、大湫のコミュニティで「石に絵を描こう」のイベントにさんかしました。

石に絵を描くのは、あまり機会がないので、なんの動物を描こうか、そわそわしてしまいました。

さいしよは石のイメージがなくて、お米やコアラを描いていましたが、だんだんいろんなもようや色が目立つ石ばかりのこつていて、なにを描けるのかなやんでいました。なやんでいる内に、よく見ると、顔に見える線が見えてきました。

石に絵を描くゴツゴツした感じも面白いし、めずらしい動物を描こうとイメージをふくらめます時間も楽しかったです。

こんどやるなら、小さい石ばかり集めて小動物ばかり描きたいです。



親子で頑張っています。楽しそう
いいね！文化祭に展示します。



自分が描いた中で一番気に入ったの
は、『小さい』にっこりじぞう』です。
ぜひみてください。

作品

募集中!



大湫町文化祭

テーマ『ふくらまそうイメージを!』

今年も講堂・ロビーを使った展示とさせていただきます。

日時：11月3日(木・祝日)～6日(日)

9:00～15:00(最終日は、12:00まで)

場所：大湫公民館 講堂 ロビー

町民の皆様の展示していただける作品の募集をしています。

10月19日(水)までに申し込みをお願いします。

喜べるか、『老人力』

最近、私にも『老人力』が付いてきたようだ。老化により「物忘れが激しくなった」というマイナス思考をプラス思考に変える発想が『老人力』。だが、前向きに考えても事実には記憶力の低下。会話に「あれ」「それ」などの言葉が増えた。記憶の引き出しから使いたい物がすぐに出せなくなったのだ。

記憶する場所を作業台に例えるなら、いくつもの事柄を乗せることができなくなつた。一つずつ対応していかないと、忘れて落ちがでてしまう。短期記憶の劣化だ。そう感じるようになった。

この『老人力』なるものは、赤瀬川原平らが1997年に提唱した。これに勇気づけられもする。とは言うものの、記憶力の低下により、もの忘れが増えた自分自身が腹立たしい。

電力需給の逼迫と節電要請

今年3月22日、突然のように政府は「電力需給ひつ迫警報」を出した。首都圏の電力需給が極めて厳しい状況だというのだ。福島県沖の地震で火力発電所が停止したことがその理由だった。幸い事なきを得たが。

猛暑の今夏、政府は7月1日から9月30日までの節電を呼びかけた。呼応してNHKはニュース番組の冒頭に、節電している旨の字幕（「節電のためスタジオの照明を通常より落としています」）をだす。電力事情が厳しいことをニュースのたびに視聴者に示す。うがった見方をすれば、一連の節電の呼びかけは原発再稼働の伏線であり、視聴者の意識を誘導した。

この節電要請は、ロシアのウクライナ侵略により天然ガス・石油・石炭の調達がむずかしくなるのでは、という理由からだ。電力の供給が必要に応じるには、現在停止している原子力発電の再稼働

しかないと言うわけだ。



「ベースロード電源は原発」でいいのか

あの事故により原発は全て停止された。脱原発を掲げつつも電源供給の基盤、土台だとする位置づけは維持された。

温暖化を止めるため、二酸化炭素を出さない再生可能エネルギーへの取り組みは不十分だ。原発に替わる太陽光・風力に限らず、地熱・バイオマス・小水力発電など多様な方法で電気を生み出し活用できることに力を注いできたと言いはる。その結果は数字にも表れている。日本の自然エネルギーの割合は、22.4%（2021年）。欧州28カ国の平均38%に比べると差は大きい（「環境エネルギー政策研究所」）。

8月24日、総理は再稼働をする原発の数を増やし、新設や運転延長も指示し

た。3・11原発事故以降、稼働期間は原則40年だった。その期間を規制委員会が認めれば60年を超えても稼働できるようにしようとするものだ。

原発事故は忘れられたのか

2011年3月の福島原発の事故は終わってはいない。今もお汚染水はたまり続け、構造物と核燃料が高温で溶け、冷えて固まった「燃料デブリ」は高濃度の放射線を出し続けている。このデブリを取り除くめどは立っていない。それでも双葉町の避難指示が解除（8月30日）されたことにもない、11年半ぶりに町役場の機能が新庁舎で始まったというニュースが流れた。ホッとする。だが居住可能な部分は町の面積の15%だという。

2020年に予定されていた東京オリンピックも「復興オリンピック」だった。「スポーツの力で被災地に元気と感動を届けます。そして、様々な困難を乗

り越え、復興へと歩む被災地の姿を世界に発信」（東京都オリンピック・パラピック事務局）するとした東京五輪。新型コロナウイルスのまん延により、開催が1年延期となったこともあるのだろうが、「復興オリンピック」は影を潜めた。

このオリンピックを日本に誘致する際の演説（国際オリンピック委員会総会で、放射能汚染は『アンダーコントロール』だと、大見得を切った。その後の事態は、全くこの説明と異なる。

原発事故は今や忘れ去られようとしていないだろうか……。関係者は忘れてたくとも忘れることができないはずだ。今なおかつての居住地に戻れない状態を余儀なくされ、生きる糧や生活の場を失っている。原発再稼働・新增設の総理発言を原発事故被害者はどのように聞いたのだろうか。

『絶対安全』がないことは、福島原発事故で実証済みとなった。あれは想定を超える自然災害だった。日本列島は、4つのプレート（太平洋・フィリピン・

ユーラシア・北米）が、押し合いへし合いする位置にある。この立地から日本は大地震・火山の噴火から免れられない。これからも想定を超える自然の猛威による災害は起きるだろう。

それでも「この原発は事故を起こさない」と、近隣の住民も思う。「正常バイアス」が働くからだ。自分は大丈夫だという心理だ。

あの津波や地震を忘れたわけではないが、やはり意識の底、隅に追いやりられてしまっている。「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ではないが、忘れるものだ。

だが決して忘れてはならないことがある。時の流れに埋没させてはならないことがある。老人力がついたなどと言って笑ってはおられない。

文責 長谷川 明



私たちの

コミュニティ・スクール

釜戸町・大湫町を対象エリアとする釜戸小学校コミュニティ・スクールは、発足2年目を迎えました。

まちづくり組織や区長会をはじめとする地域の関係役員と保護者及び学校関係者で組織された「学校運営協議会」で、年度当初に学校運営方針を協議決定し、ともに主体性を持って学校運営や子どもたちの健全な育成に関わっていきましょうとするものです。

子どもたちの教育は教員に任せ保護者や地域住民は協力するものとの認識から、一歩踏み出し、地域住民・教員・保護者が主体的なかかわりを持ちながら協働する学校運営が期待されており、私たち自身が意識改革を伴って取り組むことが求められています。

授業や学校活動にボランティアで参加するとともに、校舎や校庭は言うに及ばず、通学路や公園など子どもたちの成

長を支える全ての環境に対しても、私たちの手で改善していこうではありませんか。

子どもを育てるばかりでなく、この故郷の地で子どもとともに育とうとする私たちの活動が、愛着を持って地域を担ってくれる子どもの成長に繋がっていくのではないのでしょうか。

企画委員会副会長 足立直

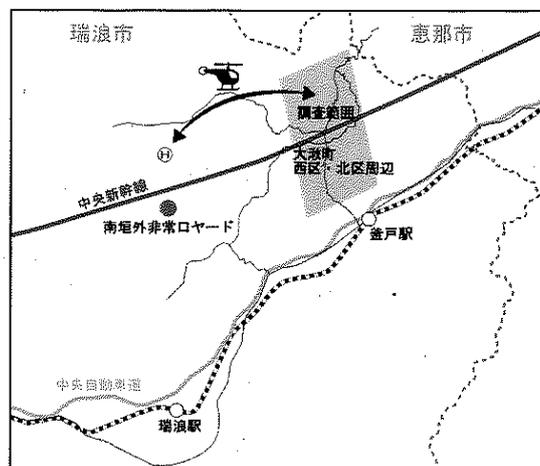


釜戸小学校で行われた草取りボランティア

中央新幹線工事：ヘリコプターを用いた調査実施のお知らせとお願い

中央新幹線日吉トンネル新設（南垣外工区）共同企業体は、JR東海が発注する日吉トンネルの工事に伴い、ヘリコプターを用いた地質調査（空中電磁探査）を行います。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和4年10月18日（火曜日）から数日程度（天候等により日程は順延します）、測定器を吊り下げた小型ヘリコプターが、大湫町西区・北区周辺 約100mの上空を時速50km程度で巡行飛行します。飛行時間は8～17時です。



調査範囲



9/19『敬老の日』おめでとうございます

敬老の日を迎えられお祝い申し上げます。
昨年同様今年も記念品をお渡しすることになりました。

昨年、75歳以上の対象者は70名、今年は74名の方に。社会福祉協議会大湫支部長の指揮で、各地区の区長・民生委員・福祉委員・主任児童委員の方の協力で、記念品をお届けしていただきました。ありがとうございました。

大湫町の最高齢者は、大正14年生まれの女性97歳、男性の最高齢者は昭和3年生まれ94歳の方です。

皆さんこれからもお身体を大切にして健康で明るくお過ごしください。

区	男	女	計
足又区	7	11	18
西区	9	11	20
北区	8	9	17
神田区	9	10	19
合計	33	41	74



2022年6月11日(土)18:00 NHK で放送されました。

『神様の木に会う にっぽんの旅』第5弾のDVDが公民館にあります。

ご覧になりたい方は公民館まで申し出て下さい。

9月、10月丸森企画

- 『秋の丸森～森のミズク祭り』【9/1～10/23】
- 丸森特別展示Ⅲ『大湫町に伝わったやきもの』【10/1～1/31】
大湫宿が栄えていたころに用いられたおもてなしの器。瑞浪市陶磁資料館のコレクションより、西森、米屋などに伝わった九谷などの大皿を中心に。
- 『大湫神明・白山神社例大祭』特別ガイド【10/2 9:30～】
中山道ボランティアガイドが神輿、山車、をはじめ大湫宿秋祭りの全てと、宿内の見どころをご案内します。当日は9:20に丸森に集合。
- 円空彫りオーナメント、ストラップの寄付頒布



2022.9.19.現在

9月 大湫宿の行事・出来事・丸森と来宿者の様子

- *11日 秋季奉仕作業
クラブツーリズム 17名様来宿
- *18日 クラブツーリズム 18名様来宿

町 外		町 内		合 計	その内 (外国関係)
大人	幼小中高	大人	幼小中高		
184	4	51	1	240	0
R4,4月～	2,821	オープンから	43,433	R1 同月比	57.2%

- ◆ 9月に入り、標高 500 メートルの高原の宿場、大湫宿はすっかり秋めいてまいりました。「with コロナ」「コロナとの共生」が言われる昨今ではありますが、他の観光地がようやく復活を見せる今、そちらにお客様が回ったのか、雨がちの天候も相まって、静かな大湫宿でした。
- ◆ そのような中で、8 月末から休日を中心に、名古屋市南部からのお客様が目立ちました。聞いてみると、この方面の新聞の地方版に【竜吟峡～大湫宿】の折込観光案内記事が掲載され、それを見て来られたお客様でした。多い日は100人近くの方が来宿されました。
大湫宿を始め、この地域の観光地としての魅力はまだまだ知られておらず、これまで以上の情報発信の重要さを感じました。
- ◆ 現在【大湫町コミュニティー推進協議会 ホームページ】【大湫宿丸森 Instagram、Facebook】が開設されております。それ以外にも多くの方々が SNS によって大湫町からの情報発信をしておられます。今後も共に協力して、大湫町・大湫宿を PR していこうと思います。



HP



Instagram

大湫公民館職員の募集について

大湫町コミュニティ推進協議会では、まちづくりに意欲ある人材を下記のとおり募集します。

記

- 雇 用** 大湫町コミュニティ推進協議会
- 募集人員** 公民館館長 1名 (週に2日程度)
公民館 (原則として休日・土日祭日 平日・8:30~17:15)
- 募 集** 令和4年12月12日(月)までに大湫コミュニティーセンターへ履歴書を提出してください。
- 勤 務** 令和5年4月1日より
- その他** 詳細については、大湫コミュニティーセンターにお問い合わせください。

以上

公民館講座『親子リトミック教室』

リズムに合わせて楽しく体を動かしましょう。

日 時 : 10月13日・27日

11月10日・24日

(2.4週の木曜日)

10:00~11:00

場 所 : 大湫公民館 和室

受講料 : 初回のみ 1家族500円

申 込 : 10月6日(木)までにお願ひします。

申込・問合せ

大湫公民館 ☎63-2360

公民館講座『ウクレレ教室』

ウクレレを始めてみませんか。

日 時 : 10月4日・11日・18日

25日

(毎週火曜日)

場 所 : 大湫公民館 2階会議室

受講料 : 500円

持ち物 : ウクレレのある人は持ってきて下さい。

筆記用具・ノート

申込・問合せ

大湫公民館 ☎63-2360

大湫公民館・大湫町コミュニティ推進協議会からのお知らせ

	<p>リ・アップ “ひよも” 《10月のひよもの活動》 生活安全課の交通指導員による 『高齢者交通安全教室』 日時：10月5日(水)10:00～11:00 場所：大湫公民館 講堂</p>
	<p>大湫宿お休み処 10月の営業日 2日・9日・16日・23日・30日(日曜日) 10日(祝日) ※ 予約は、丸森(☎0572—63—2455)へお願いします。</p>
	<p>ご招待券あります 2枚 (公民館にあります。利用される方は取りに来て下さい。) 「ロマンティック プロGRESS」 日時：9月17日(土)～11月13日(日) 場所：岐阜県現代美術館 ギャラリーI</p>
	<p>オススメ!! 大湫分室の本 『53歳の新人』 内多勝康:著 新潮社:刊 NHKのアナウンサー内多氏が53歳で福祉の仕事に転職します。 慣れないパソコン仕事に毎日、四苦八苦。やりがいを探るための人生の 選択は魅力的です。 8月の大湫分室 貸出人数：16人 貸出冊数：42冊</p>
	<p>デマンド交通 8月利用者(大湫～日吉東部) 34便 延べ36名(稼働率25.8%)</p> <div data-bbox="1077 1624 1396 1747" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 皆さん、たくさん 利用して下さい。 </div>
	<p>青色回転灯防犯パトロール 10月のパトロール予定者 上旬：桐井 賢次：柘植 巧 下旬：河端 聖哉：三浦 信之</p>

区長日記

九月に入ってもコロナの感染者は中々減らない状況が続いています。身近でコロナに感染した人が増えてきますので、まだまだ安心しないで感染防止対策を実施していただき予防に努めて下さい。

九月十一日の秋季町内奉仕作業については、町民の皆さんのお陰で主要道路の脇の草木が刈られ安全・安心して通行できる様になりました。お疲れ様でした。

道路に覆いかぶさってきている木につきましては、今後計画的に伐採を実施して行く予定です。

今月は台風がいくつも来ましたが、幸い大湫町内では災害被害の報告は聞いていません、十月にも何個かの台風の襲来が予想されますので、命を守る行動をお願いします。

第三次観光景観林整備事業が今年度中に実施されます、場所は大湫病院から足又公民館までの県道脇（左右）で地権者の了承も戴き本格的に作業に入ります。

加藤

9月2日 定例区長会・幹事会

5日 第四回道の駅実行委員会

R4まちづくり講演会

7日 市功労者選定審査委員会

9日 文化祭実行委員会

11日 秋季町民奉仕作業

JR（リニア工事関係）打合せ

15日 釜小グラウンド草取り

16日 釜小グラウンド草取り

19日 敬老の日記念品配布

21日 交通安全街頭指導（辻立ち）

25日 消防市長特別点検（第三分団）

26日 第三回連合自治会

第二回未来カフェ ワークショップ



二九	二七	二六	二五	二三	一九	一八	一六	一五	一三	一二	一一	十	九	七	五	四	三	二	一	日	令和四年十月行事予定
土	木	水	火	日	水	火	日	土	木	水	火	月	日	金	水	火	月	日	土	曜	
巨大粘土でまちづくり	広報委員会	公民館講座『親子リトミック』	公民館講座『ウクレレ教室』	公民館講座『ウクレレ教室』	公民館講座『ウクレレ教室』	公民館講座『ウクレレ教室』	足又八幡神社例大祭	大湫太鼓	公民館講座『親子リトミック』	公民館講座『ウクレレ教室』	公民館講座『ウクレレ教室』	スポーツの日	神田白山権現社例大祭	区長会・幹事会	水リ・アップひよも『交通安全講話』	火公民館講座『ウクレレ教室』	財産区全員会議	神明白山神社例大祭	大湫太鼓 中止	予 定	
不燃ごみ：10/6(木) 資源ごみ：10/21(金)																					

大湫公民館に JA の方が来られる日に

『みずなみ応援券』を『プレミアム商品券』に交換販売します。

交換販売日：10月3日・5日・7日・12日・14日

11月4日・7日・9日・11日

平日 月・水・金曜日 (10:00~11:00)

必要な方は、ご利用下さい。

編集後記

敬老の日おめでとうございます。

日本の100歳以上の方は9万526人で、昨年より4016人の増加。52年連続の増加。そのうち9割位は女性だそうです。

こんなにも100歳を迎えられるたくさんの方がおられるのはすごく喜ばしい事です。お元気で明るくいて下さい。

世の中が平和で大きな災害がないことを祈ります。 ㍻



編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
 令和4年 10月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL.0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp>